中國新聞

発行所
中國新聞社
広島市土橋町7番1号
（郵便番号 733）
電話広島91局1111番（大代表）
郵便振替口座　広島57番
© 中國新聞社 1972

広島の名酒
蔵出原酒
国税 菱正宗
広島市可部町　久保田謹醸
ヒシマサムネ

きょう原爆記念日

ヒロシマ包む 祈りと誓いと

原爆記念日—。広島市では六日朝、平和記念公園の原爆慰霊碑前で被爆二十七周年原爆死没者慰霊式と平和祈念式を催す。市内各地の原爆死没者の碑や供養塔でも霊を弔う行事が行なわれる。五日からは原水禁団体の世界大会も開かれ熱っぽい討議を始めた。【15・18・19面に関連記事】

式典は午前八時から始まり、山田広島市長、永野広島県知事をはじめ田中首相代理の二階堂進官房長官、西田広島県議会議長、宮本正夫広島市議会議長、原爆死没者遺族、被爆者、原水禁大会参加者、一般市民ら四、五万人が参列する見込み。ことしは初めて長崎市代表ト部壮一・助役、宮崎藤美・市議会議長や韓国被爆二世の「ピドルギ（韓国語ハト）団」代表の陳宋任さん（二〇）＝ソウル市＝も参列する。

式は市立基町高、国泰寺中、宇品中の三校の吹奏楽団百二十二人が増広卓三広島市立基町高校教諭の指揮で吹奏する荘重な「慰霊の曲」で開式。山田市長がことし新たに書き加えた原爆死没者名簿（過去帳）を慰霊碑に奉納する。遺族代表の広島市舟入川口町、会社員由井秋夫さん（四〇）と同市庚午中二丁目、無職亀井乙女さん（六〇）の二人が名簿を奉呈する。

宮本市議会議長が式辞を述べ、献花は市長、議長、遺族代表の市内基町、会社員河野昭さん（三五）同町、理美容院経営沢本藤江さん（二九）の二人に続いて被爆者代表の任都栗司・市原爆被爆者協議会長、首相代理の二階堂官房長官、永野知事、西田県議会議長の順で花輪をささげる。このあと市民代表の〝流れ献花〟に移り、広島市立舟入小四年生寺田美恵さん（一〇）を先頭に五十二人が菊花をささげる。この中には被爆者や被爆二世、朝鮮人被爆者の肉親も二人加わる。

原爆が投下された運命の午前八時十五分には、遺族代表の河野さんと沢本さんの二人が、平和への祈りと誓いを込めて「平和の鐘」を打ち鳴らすのを合図に、参列者全員が原爆死没者のめい福と平和を祈り一分間黙とうをする。

次いで市長が平和宣言を読み上げ、平和のハト約二千羽が一斉に放たれる。このあと首相、知事、県議会議長のあいさつや衆参両院議長のメッセージが披露され、最後に広島少年合唱隊、高校、職域、同好会、母親グループなど三十グループ五百五十人の大合唱団が「ひろしま平和の歌」を参列者とともに合唱し、式典を終わる。

ことし新しく原爆死没者名簿に追加された原爆死没者は男千百八十八人、女九百九人の計二千九十七人。これで慰霊碑への奉納数は男四万二千五百九十九人、女三万七千五百二十四人、性別不詳六十人、計八万百八十三人で初めて八万の大台を越えた。

追加されたのは、この一年間になくなった被爆者千五百六十七人、二十年八月六日の原爆投下の日に死亡し、やっと確認された二百四人など。

この中には広島逓信病院の医師だった長堂一雄さん（当時二十七歳）＝沖縄県与那城村屋慶名＝ら広島で被爆した沖縄県の死没者十三人の名もある。沖縄県の死没者が一度に十三人も名簿に記載されるのは初めて。

この日は会場のほか市内各地で原爆犠牲者の慰霊行事があり、夜は七時から市内六河川十カ所でとうろう流しもある。

しかし、五日には広島駅前で学生と右翼団体が衝突して血を流した。こうした動きで祈念式典が混乱する心配も一部にある。平和への模索を続ける行動は、さまざまであるが、静かな〝聖地〟での暴力は許せないという願いもまたヒロシマの叫びである。

広島平和記念館講堂で開かれる原爆記録映画「ヒロシマ・原爆の記録」は午前九時半、同十一時二十分、午後一時、同二時五十分の四回、ナチスドイツがユダヤ人を虐殺したアウシュビッツ収容所の記録映画「クロニカ」「解放への記録」と合わせて上映する。入場無料。

二つの原水禁世界大会始まる

広島
東京

二世対策を訴え

原水禁

北爆非難相次ぐ

原水協

原水禁国民会議（社会党・総評系）、日本原水協（共産党系）の原水禁世界大会が広島と東京でそれぞれ開幕した。東京を中心にスケジュールを組んだ原水協、従来通り東京—広島—長崎と会場を移動する原水禁とも外国代表、全国都道府県の代表らが会場を埋め、ベトナム反戦、アメリカの日本核基地化反対、被爆者救援などの運動強化の決意を固めた。広島原爆記念日の六日、原水協は東京で一万人討論集会、原水禁は広島で分科会と総括総会を開く。

原水禁国民会議の「被爆二十七周年原水禁世界大会」開会総会は、午後六時から広島市基町、広島県立体育館に全国から約七千人が参加して開き、アメリカのベトナム侵略戦争反対、外国人被爆者および被爆二世の実態究明と対策、被爆者援護法制定要求などを盛り込んだ「広島アピール」を採択した。

開会総会には原水禁大会初参加のミクロネシア・マーシャル諸島の被爆者ジョン・アンジャンさん（三〇）をはじめ五カ国、二国際団体の外国代表十三人も出席し、国内参加者から大きな拍手を浴びた。

桧垣益人広島県被団協事務局長ら四人を議長団に選んだあと、外国代表が紹介された。

海外からの参加者を代表して、ビキニ水爆実験の被災者であるジョン・アンジャンさんが「広島、長崎の被爆者と一緒になって核兵器をなくし、平和な世界をつくるために闘いたい」と決意を述べ、さらに「ビキニで被災した同胞の健康調査のため、日本から医師を送ってほしい」と訴えた。

このあと、四日まで東京で開いた国際会議報告、先月沖縄で開いた沖縄大会報告があり、森滝市郎代表委員が「核兵器の非人道性を告発し続け、世界のいかなる国も広島、長崎、ビキニを繰り返してはならないことを警告し続けよう」と大会の基調報告をした。

被爆者を代表して広島県高教組被爆教職員の会の森下弘会長（廿日市高校教諭）が被爆者援護法の制定を政府に強く要求し、被爆体験継承のための平和教育の徹底を訴え、最後に全電通被爆者対策協議会の室田秀子さんが「広島アピール」を朗読。これを全員の拍手で採択して午後八時半すぎ閉会した。

広島アピール要旨

国際的な緊張緩和の努力が続いているとはいえ、インドシナではアメリカのベトナム人民皆殺し戦争が続いており、核兵器の質的開発の面で競争も、核をめぐる情勢を激化している。返還された沖縄もベトナム侵略の前線基地と化し、日本帝国主義も沖縄をテコに軍備拡大を図ろうとしている。こうした中で、同じあやまちがくり返される危険は去っておらず、私たちはいかなる核兵器の製造、貯蔵、拡散、使用に断固反対の行動をとる。原水禁運動を被爆者救援の戦いに発展させ、援護法を制定させる。外国人被爆者と被爆二世への具体的措置を実現させ社会差別の根源を断ち切る。

◇

日本原水協の第十八回原水禁世界大会本会議は、五日午後六時から東京・小石川グラウンドで開かれた開会総会で始まった。四年ぶりに野外で開かれた開会総会は照明の中に北ベトナムなどインドシナ三国と南ベトナム解放戦線の旗が浮かびあがり、北ベトナムなど十二カ国四十八人の海外代表と一万人の全国代表が出席した。

細井友晋大会運営委員長が「ことしの大会は、増水期に堤防破壊の爆撃を続け〝ベトナム人皆殺し作戦〟に転じた米帝国主義の侵略戦争阻止と、沖縄はじめ日本からのベトナム出撃、兵器補充でこの侵略戦争に加担している日本政府への抗議行動を首都が起こすのが緊急課題である」と原水協報告を述べた。このあと北ベトナムなど各国代表が、米軍の北爆を激しく非難するあいさつを繰り返した。

ことしの大会には、胎内被爆の女性が初めて登壇し、胎内被爆者、被爆二世の立場から「被爆者の訴え」を発表した。広島で母親が被爆した東京被爆教師の会の森香世子さん（二七）＝広島県山県郡戸河内町出身＝で「被爆老人と、子供の問題が新しくクローズアップされる中で、私達はもう待てないぎりぎりの気持ちだ」と被爆者援護法の制定運動を呼びかけた。

原水爆禁止世界大会開会総会
核武装阻止
沖縄の核基地
核阻

東京から広島へ舞台を移し、約七千人が参加して開かれた原水禁の世界大会開会総会（広島市基町、広島県立体育館で）

きょう 20ページ		
2面	（内政）	中核都市整備へ法案作る
3面	（外報）	米、新型核兵器を開発中？
4面	（解説）	公害と産業政策の問題点
5面	（対話の欄）	社説▽被爆者解放のトリデ
6面		商況
7面	（経済）	新段階迎える日中経済関係
8面	（洗心）	ローマ法王の平和提言
9面	（文化）	広島の惨状を浮き彫り
10・11面		テレビ・ラジオ番組▽小説
12面	（スポーツ）	全米水泳、世界新ラッシュ
13面	（スポーツ）	巨人勝ってまた2・5差
15面	（広域版）	8・6ヒロシマの宿超満員
16・17面		地方版
18面	（社会）	馬王堆古墳で新たな写真
19面	（社会）	「比治山会談」の真相わかる
20面	（くらし）	特集「母が語るヒロシマ」

米軍戦車いぜん立ち往生

横浜

市と話し合いつかず

ピケ隊400人にふくれる

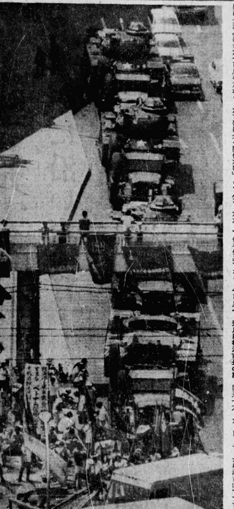
【横浜】横浜港ノースピア（米軍専用ふ頭＝横浜市神奈川区瑞穂町）手前の村雨橋で、米軍戦車の輸送を阻止している社会、共産両党労組員らのピケ隊は六日午前一時現在、座り込みをとかず、大型トレーラーに乗せられた戦車など五台はまる一日立ち往生を続けている。夜に入って四百人にふくれ上がったピケ隊に飛鳥田横浜市長も加わり、ピケ隊の気勢は上がっている。一方、五日午後から横浜市と米軍の間で行なわれていた事態解決のための話し合いが決裂したことにより、社会党、横浜市など阻止グループは対決姿勢をさらに強めており、二日目の徹夜の実力阻止となった。社会党神奈川県本部は「米軍が横浜市に道路使用許可申請を出さない限り、六日の日曜日はさらに大量動員して実力阻止闘争を強化する」としており、このままの状態が続けば、事態はさらに悪化、日米間の大きな政治問題となる恐れも出てきた。

（夕刊一部既報）【2面に関連記事】

日中うだるような暑さだった現場は、夜に入って涼しい風も吹き始め、米軍戦車との根比べで真っ赤に日焼けした人たちもほっとした表情。

午後八時前、大出俊代議士が「ここにいる米兵たちは相模原に戻ることを〝退却〟と考えてメンツだけにこだわっている。戦車が退くまでがんばろう」と情勢を報告した。

社会党県本部の幹部も「あすの日曜にはさらに増援部隊が来ます」と座り込み続行を強調。



路上を〝占領〟した巨体　社会党員や労組員の座り込みで立ち往生した戦車積載の米軍トレーラー（横浜港ノースピア入り口で）

一方、第一京浜国道に立ち往生している四台のトレーラーの周辺には夕涼みにきたやじ馬も加わり車は動かそうにも動けない。トレーラーの米兵たちは「自分たちには全く関係ない」とうんざりした表情。運転席に寝そべったり道路わきのガードレールに寄りかかって体を休めており、やじ馬がトレーラーのエンジンカバーに労組の旗を結びつけても知らん顔。

初めて米戦車輸送阻止闘争に〝成功〟したシュプレヒコールは深夜まで村雨橋付近に続いた。

一方、同日午後三時すぎから横浜市内で行なわれた横浜市、米軍の話し合いは、市の管理する二つの橋の重量制限をタテにあくまでも許可申請を出すよう—主張する横浜市側と、何とか戦車を通して欲しい—と迫る米軍の意見が対立したまま、物別れに終わった。

このため社会党神奈川県本部は「六日はさらに大量動員して実力阻止闘争を強化する」としており、米軍戦車輸送阻止闘争はさらに深刻化しそうだ。

飛鳥田横浜市長の話　国道一六号線は昭和三十年ごろまで日本の大型トレーラーなどをいっさい通さず、横須賀やノースピアへ物資や弾薬を運ぶ米軍の専用道路だった。十数年ぶりに初めて米軍輸送車を止めたことになり、まさに記念すべき日だと思う。市長として座り込んだのはこれが初めてだが、社会党の国民運動委員長時代にさんざん経験しており慣れていますよ…。

通行許可を取れ

外務省、米大使館に勧告

ベトナム行きの米軍戦車を積んだトレーラーが横浜市内で立ち往生した問題で、外務省は五日午前、米国大使館に対し「道路交通法に基づく重量制限令に従い、横浜市から村雨橋通行許可の承認を取るべきだ」と勧告した。

同省はこの事件について、四月一日の政令改正で「重量二十㌧以上の車両通行には道路管理者の承認が必要である」との条件が付いたことから、米陸軍相模原総合補給しょうがその手続きを取らず、事務的手落ちがあるという見解をとっている。これに対し、米大使館側は「至急横浜市と連絡する」と回答、同補給しょうから係官がヘリで現場に急行した。

しかし横浜市側は政令改正以前、米軍大型車両が村雨橋を通行していた事実を認めているものの、今後は速度制限、橋の補強措置などの条件を付けてくることが予想される。外務省はトレーラーの立ち往生が長引くと外交上にも問題が起きると苦慮しており、今回に限ってトレーラーを同補給しょうに回送するよりも、数百㍍先のノースピアに乗り入れさせる方が、現実的な解決策であるとして、横浜市と折衝している。

正当な行動 米軍主張

一方、在日米軍広報担当者は五日、米軍戦車のノースピアへの移送を公式に認めるとともに「戦車であれ軍用車であれ、夜間の移動ならば住民に迷惑をかけないはずだ」と述べ、さらに「戦車の修理から移動に至るまで、いっさい日米安保条約のわく内で行なわれている正当な行為だ」と強調した。

きょうは夕刊を発行します

きょう六日（日曜日）は原爆記念日のため、特別に夕刊を発行します。

中国新聞社

日中空路開設へ前進

日航・全日空両社長の訪中決定

台湾路線の扱いが問題

朝田静夫日本航空、若狭得治全日本空輸両社長は、中国上海舞劇団が帰国に利用するチャーター便に同乗、訪中することになったが、国際航空界が中国路線開設に躍起となっているなかで、両社長の訪中は事実上、日中航空交渉の開始を意味し、これにより日中航空路開設の問題が大きく進展するものとみられる。

（夕刊一部既報）

同時に、現在、台湾との相互乗り入れを行なっている日本航空に対し、定期航空路開設問題に中国側がどのような感触を示すかは、日中国交正常化交渉のなかで台湾問題に対し中国がどのような考え方を持っているかを占う一つの手掛かりとなろう。

今回の訪中に当たり、朝田、若狭両社長はあくまで友好訪問であり、日中両国をめぐる航空情勢について意見交換するのが目的だとしながらも、両社長とも上海への臨時便乗り入れをきっかけに、今後、中国への臨時便の直接乗り入れを軌道に乗せたいとの意向を持っている。

このため両社長は、北京で中国民用航空総局（CAAC）幹部との会談を通じ、当面、秋の広州交易会、田中首相の北京訪問に際し、直航臨時便を出したいとの希望を表明するものと思われる。

また両社長は中国側との接触のなかで、定期航空路開設について中国側の感触を探りたい考えである。その場合、東京—台北間に定期航路を持つ日本航空の中国定期航路開設に対し、中国側がどのような態度を示すかが一つの焦点となる。

現在、日航の台北路線は日華平和条約に基づく行政取り決めにより運航されている。

果たして中国側が日航の台北路線運航を認めたまま、日中定期航路開設の話し合いに応じるかどうかが最大の問題である。

一方、全日空もかねてから中国への定期空路開設に強い希望を持っている。いまのところ国際線は日航が受け持つとの政府の航空政策には変わりはない。しかし、若狭社長はこの政府の政策に中国側がどのような意向を持つか打診するとともに、全日空としては将来、大阪—上海、鹿児島—上海などの局地的な路線を開設したいとの希望を伝えるものとみられる。

天風録

八時十五分—二十八度迎えるあの一瞬。原爆慰霊碑にぬかずく者もそうでない者も静かに祈りの世界にひきこまれる。被爆者を含めて多少とも衝撃の破壊力に打ちのめされた人々にはそうしなくてはおれない体験がある▲その体験を横に広げ縦につないでいかずにはすまない衝動がヒロシマの平和運動だ。ところが例年この季節になると静かな祈りをかき消す騒々しさが目立つ。昨日も外から乗り込んできたような右と左の勢力が広島市内で血の乱闘を演じた。機動隊に守られる平和祈念式典には素朴な疑念さえ向けられる▲平和運動はなにも左翼陣営の専売特許ではない。反戦平和といえば偏向呼ばわりされかねない運動の体質はしょせんヒロシマとは無縁のもの。右翼につけ入られるスキもこの点だ。多様化する運動に活力を与えるのは祈りに深化された被爆体験だったはず▲多くの被爆者があのむごたらしさを書き残し、伝承しようと努めているのも体験から生まれた平和運動の輪が広がりにくいもどかしさからだろう。しかもあの日の体験は、二十七年たった今も決して風化することはない。ただ被爆者は老齢化し世代交代の波に押し流される。それが二重のもどかしさだ▲目撃者には目をそむけるような交通事故の悲惨さも、数字で語られるときには実感が薄れる。だが悲惨な事故もただ実感にとどまる限り事故防止対策を政治の場面へは引き出しにくい。強烈な被爆体験を実感として受けとめながら広範な平和運動へ盛り上げるのは同じ困難さを伴うようだ▲ことしは原爆映画づくりが四年ぶりに再燃した。しかもとかく重苦しさばかり強調しがちだった過去の手法からの脱皮が図られているという。ヒロシマの運動も新しい手法が必要だ。それは決して騒々しさからは出てこない。

温水・蒸気一家庭用・業務用
長府ボイラ
長府製作所
本社・工場　山口県下関市長府町港町8の4
TEL 0832㊺0111（大代）
支社／栃木　営業所／東京・大阪

住宅ローン
金利引下げにより、さらに有利になりました

区分／融資期間	団体信用生命保険をおつけした場合	団体信用生命保険をおつけしない場合
1年～5年	年利 8.4%	年利 8.1%
6年～10年	年利 8.7%	年利 8.4%
11年～20年	年利 9.0%	年利 8.7%

＊最高1000万円のご融資
＊ご返済は最長20年
＊保証人不要（保証保険つきの場合）
● ご預金の条件はありません
● はじめての方でもご相談に応じます
山口銀行

ダイヤル〝0〟で
声の暑中見舞を
暑中見舞はおすみですか？
暦のうえでは、あすから立秋。
でも、暑さはまだ続きます…
電話なら、まだ間にあいます……
ダイヤル〝0〟（市外通話）で
声の暑中見舞をどうぞ。
〈電話をかける…心をかける…〉
電電公社

★変貌する社会の《真実》に迫る、ビジネスマンの価値ある月刊誌
現代
9月号／200円／講談社
ドキュメント・ドラマ　●〝大気汚染〟の恐怖／四日市をはるかに超える　東京が死んだ！
●波乱万丈！ブームを呼んだ「昭和太閤記」角栄・天下平定後の武将地図
●父・一郎の特訓ぶりを語る…　わが家のスパルタ式放任教育＝河野洋平
●時事提言　肥満児日本を憂う——石原慎太郎
●金儲け2大特集！　昭和乱世の金儲け説法——高島陽　新金儲け事典
〈乱世の群像〉社員廃棄院／森村誠一　斎藤栄三郎の
年代別　職場の中の「人生設計」
20代／〝異質体験〟が一番大切な社会入門期
30代／エンジン全開で燃焼する一本立ち期
40代／破壊精神と自信で転機作る大勝負期
同僚にも話せない—不始末《酒・女・ギャンブル》処理作法
さよなら、ニクソンさん
米国への縁切り状　秋元秀雄
国境税など相つぐ対日無差別攻撃ももはや恐るにたりない

あれから27年。いまだに犠牲者の実態が正確に把握されていない。
原爆爆心地
志水清・編
広島大学
原爆放射能医学研究所
NHK広島中央放送局
580円
本書は、犠牲者の魂を鎮め、人類平和のため、その死を無駄にせぬよう一枚の白地図の上に爆心地を復元した貴重な記録である。被爆者・市民の全面的協力により、広島大学原爆放射能研究所とNHK広島中央放送局が共同調査した広島市原爆爆心地市街図を収載
長崎 爆心地 復元の記録
調来助・編
NHK長崎放送局
原爆取材班
800円
原爆で、一瞬にして消え去った長崎の街や悲惨な死をとげた人々を確認し、白地図に記録復元する調査が、この程ようやく実を結んだ。本書は、被爆者・市民の主唱発起のもとに調来助＝NHK長崎放送局原爆取材班が総力を挙げて取り組んだ貴重な記録である。
〒100. 東京都千代田区内幸町2-1-18　振替東京49701　☎（03）501-4111
日本放送出版協会